学校番号	306

令和３年度　公民科

教科	公民	科目	政治経済	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	最新政治・経済　新訂版（実教出版）						
副教材等	テーマ別資料　政治・経済　２０２１（東京法令出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・単なる暗記ではなく、学習内容をどう捉え、どう考え、どう生かしていくか、が大切です。様々な物事に対し、自分なりの考えを持てるようにしましょう。
・新聞やニュースを見るなど、国内外の社会情勢を普段からチェックしておきましょう。
・ワークシートは定期的に提出してもらいます。各授業でしっかり取り組みましょう。

２　学習の到達目標

・広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせる。
・現代の政治、経済、国際関係に関する客観的な理解をはかる。
・現代の政治、経済、国際関係に関する諸課題の解決に向けて、主体的に考える態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代の政治、経済、国際関係に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとする。	現代の政治、経済、国際関係に関して課題を見いだし、社会的事象の本質や人間の存在及び価値などについて広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	現代の政治、経済、国際関係に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	現代の政治、経済、国際関係に関する社会的事象と人間としての在り方生き方とにかかわる基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	現代国家と民主政治	・民主政治の成立 ・民主政治の基本原理 ・民主政治のしくみと課題 ・世界のおもな政治制度	○ ○	 ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	a:民主主義の歴史や基本的原理に関して興味を抱いている。 b:西洋で発達した民主主義の原理と日本の政治機構の仕組み、主要国と日本の政治制度を比較し考察している。 c:民主主義の原理について、思想家たちの原典資料の内容を確認している。 d:権力分立、主要国の政治制度に関して正しい知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート 小テスト
	日本国憲法と基本的人権	・日本国憲法の成立 ・日本国憲法の基本原理 ・自由に生きる権利(1) ・自由に生きる権利(2) ・平等に生きる権利 ・社会権と参政権・請求権 ・新しい人権 ・人権の広がりと公共の福祉	○ ○	 ○ ○ ○	○	 ○ ○ ○ ○	a:日本国憲法の成立過程や基本原則に対して興味・関心を抱いている。 b:民主主義の実現を目指す憲法の必要性や、社会の望ましい在り方を判断している。 c:日本国憲法の成立や人権保障に関する情報を、様々な手段で収集し、活用している。 d:人権保障に関連する日本国憲法の基本的条規について正しい理解を示している。	定期考査 ワークシート 小テスト

	日本の政治制度と政治参加	・政治機構と国会 ・内閣と行政機能の拡大 ・公正な裁判の保障 ・地方自治と住民福祉 ・政党政治 ・選挙制度 ・世論と民主政治	 ○ ○	○ ○ 	○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ 	a:主権者としての政治参加の在り方について客観的に考察しようとしている。 b:憲法条規上の規定と、現実の三権や中央と地方との関連などを比較し考察している。 c:国会、内閣、裁判所や地方自治に関する情報を新聞などのメディアを通じて収集し、主体的に選択している。 d:国会、内閣、裁判所の仕組みや権限、日本の政党政治についての一つの党派に片寄らないバランスの取れた理解を示している。	定期考査 ワークシート 小テスト
	現代の国際政治	・国際社会と国際法 ・国際社会の変化 ・国際連合と国際協力 ・第二次世界大戦後の国際政治 ・冷戦終結後の国際政治 ・軍拡競争から軍縮へ	○ 	 ○ ○ 	○ 	 ○ ○ ○ ○	a:現代の国際社会における政治の動向に対して、関心が高まっている。 b:これからの国際社会における国際連合の在り方について、ポスト冷戦という新しい状況の中、様々な考え方を踏まえ公正に判断している。 c:現代の国際社会における政治の動向に関する諸資料を、様々なメディアを通して収集し、活用している。 d:国際対立の経験を通じ、国際機構や国際法が発達してきたこと、核兵器と軍縮、難民問題といった今後解決すべき諸課題について、理解を示している。	定期考査 ワークシート 小テスト

2学期	日本の平和主義と国際平和	・平和主義と自衛隊 ・日米安全保障体制の変化 ・21 世紀の平和主義 ・日本の外交と国際社会での役割	 ○ 	 ○ ○	○ ○ 	○ 	a:現実の平和主義にかかわる問題に対して関心を示している。 b:平和主義の憲法の条規と、現実の社会における課題との関連を考察し、社会の望ましい在り方を判断している。 c:平和主義に関する情報を、様々な手段を使い収集し、活用している。 d:平和主義に関連する日本国憲法の基本的条規について、正しい理解を示している。	定期考査 ワークシート 小テスト
	経済社会の変容	・資本主義経済の成立と発展 ・現代の資本主義経済	○ ○	 ○	 ○	○ ○	a:資本主義経済の歴史、グローバル化した世界経済について関心が高まっている。 b:現代経済の特質について、多面的・多角的に考察している。 c:経済体制の現状に関する情報を、様々な手段を使い収集し、活用している。 d:資本主義経済の特質について理解し、グローバル化した現在の世界経済の現状に対しても理解を示している。	定期考査 ワークシート 小テスト
	現代経済のしくみ	・経済主体と市場の働き ・企業の役割 ・国民所得 ・経済成長と国民の福祉 ・金融の役割 ・日本銀行の役割 ・財政の役割と租税 ・日本の財政の課題	○ ○ 	 ○ ○	 ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○	a:市場機構や景気変動に対して関心を深めている。 b:家計、企業、政府の経済主体間の経済循環を、現実の経済活動と対応させながら考察している。 c:金融や財政などに関する統計資料を、各種白書などから収集し、活用している。 d:金融改革や財政改革といった日本経済の課題に対する十分な理解を示している。	定期考査 ワークシート 小テスト

	現代の日本経済と福祉の向上	・戦後復興から高度経済成長へ ・安定成長からバブル経済へ ・転機にたつ日本経済 ・中小企業と農業 ・消費者問題 ・公害防止と環境保全 ・労働問題と労働者の権利 ・こんにちの労働問題 ・社会保障の役割	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a:戦後日本経済が歩んだ流れを追究しようとする意欲的な態度が見られる。 b:戦後日本経済史との関連の中で、日本経済の課題を考察している。 c:戦後日本経済史に関する史料を、様々な文献から幅広く収集している d:日本経済の現状と課題に関して理解を示している。	定期考査 ワークシート 小テスト
3学期	現代の国際経済	・貿易と国際収支 ・外国為替市場のしくみ ・第二次世界大戦後の国際経済 ・国際経済の動向(1) ・国際経済の動向(2) ・発展途上国の諸問題 ・経済協力と日本の役割	○ ○	○ ○ ○	○	○ ○ ○ ○ ○	a:現代の国際経済の動向に対する関心が高まっている。 b:経済のグローバル化の動きについて、多面的・多角的に考察している。 c:現代の国際経済の動向に関する諸資料を、様々なメディアを通して収集し、活用している。 d:国際経済に関する基本的な知識を習得し、地域的経済統合や南北問題の新たな局面について理解している。	定期考査 ワークシート 小テスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。